衛生研究所業務の部

Ⅰ 一般業務概要

衛生研究所の昭和28年1月24日秋田県訓令第4号並びに秋田県行政組織規程により、地方機関として県民の保健衛生の向上に関する各種の試験検査及び調査研究を行って来たが、同規程第12条の規定により、公衆衛生課に属していた。

昭和30年4月1日秋田県会計規則における廨に指定され（秋田県告示第183号）、衛生部医務課に転属することとなったが、出納員がいなかった。しかし同年4月28日飯塚昭二が衛生研究所出納員に命ぜられたが、収入面のみで、支出は医務課の所管であった。

昭和30年7月26日（秋発知第113号）秋田県部室設置条例、並びに秋田県行政組織規程の一部改正により、民生部と衛生部は統合されて厚生部となり、また医務課と薬務課は統合されて医務薬事課となった。従って衛生研究所はこの医務薬事課に属すこととなった。しかし昭和31年12月6日秋田県規則第72号第10条により衛生研究所は医務薬事課より公衆衛生課に転属することとなり現在に到っている。

また出納員飯塚昭二は昭和30年11月10日雄勝県税事務所へ転勤し、後任に出納室から高橋作之亟が転勤して来たが、31年11月13日横手労政事務所へ転勤し、後任に大曲保健所から土岐正哉が来り現在に到っているが、32年4月1日から出納は収入面のみならず支出をも取扱い、廨として完全に独立することとなった。

以上のように人事異動があり、また行政規則に改正はあったが、定数条例等により、庶務としての業務はあっても現在庶務係はいない、ただ出納員1名のみである。

昭和32年4月1日秋田県条例第34号の施行とともに職務の内容により行政職、医療職、研究職、単純労務職と区別されまたそれぞれの等級に分けられた。

なお昭和32年4月10日技師小林清吉は秋田県農事試験場へ転勤し、交代に秋田県立中央病院より技師補宍戸勇が転入した。

Ⅱ 現職員並びに業務分担調

昭和33年1月1日現職員の氏名並びに業務分担に職務を併記すると次のとおりである。作業手は培地製作並びに動物飼養にあたる。

業務区分	職名	氏名	発令年月日
	所長	児玉栄一郎	昭和29年6月25日
出納員	事務職	土岐正哉	昭和31年11月13日
化学検査	技師職	福田九八	昭和30年7月26日
細菌検査	研究職	藤沢宗一	昭和21年11月27日
化学検査	〃	斎藤ミキ	昭和21年2月28日
細菌検査	〃	佐々木千代治	昭和27年8月12日

細菌検査	技師 研究職	庄司キク	昭和19年10月1日
化学検査	〃	宍戸勇	昭和32年4月10日
細菌検査	〃	茂木武雄	昭和23年5月20日
〃	〃	坂本昭男	昭和21年10月1日
化学検査	〃	松淵忠美	昭和25年4月1日
細菌検査	技師補 研究職 作業手	高山和子	昭和25年7月10日
〃	単純労務職	橋本与市	昭和27年12月17日
〃	〃	森田鉄雄	昭和25年12月8日

Ⅲ 衛生研究所関係条例

（使用料、手数料規則中一部改正）

県の衛生生関係施設の使用料並びに手数料徴収条例施行規則の一部を改正する規則をこゝに公布する。

昭和31年5月15日

秋田県知事　小畑勇二郎

秋田県規則第26号

県の衛生施設の使用料並びに手数料徴収条例施行規則の一部を改正する規則

県の衛生関係施設の使用料並びに手数料徴収条例（昭和23年秋田県条例第57号）第2条および第3条の規定に基きこの規則を制定する。

県の衛生関係施設の使用料並びに手数料徴収条例施行規則（昭和30年秋田県規則第13号）の一部を次のように改正する。

別表　2　性病処置料中

「マイシリン　ストレプトマイシン
0.5グラム加ペニシリン40万単位
1本につき　225円
ストレプトマイシン
1グラム加ペニシリン40万単位
1本につき　400円
クロロマイセチン（カプセル）
250ミリグラムにつき　230円
を
〃　（錠剤）　145円
オーレオマイシン（カプセル）　175円
テラマイシン　（カプセル）　175円」

「マイシリン　ストレプトマイシン
0.5グラム加ペニシリン40万単位
1本につき　175円
マイシリン　ストレプトマイシン
1グラム加ペニシリン40万単位
1本につき　315円
クロロマイセチン　253ミリグラム
につき　135円
に改める。

250ミリグラムにつき　135円
オーレオマイシン
〃　130円
テラマイシン
〃　120円」

別表　12　水質化学試験料中

「飲料水適否試験　1件につき　350円」を
「飲料水適否試験　〃　350円
に改める。

集団の場合は1件につき　200円」

別表　18　文書料中

「処方せん　1通につき　40円

但し同一疾病について継続的に2回以上、処方せんを必要とするものについては第2回以後の処方せんの料金は20円とする。」を削る。

附　則

この規則は公布の日から施行する。

Ⅲ　昭和31年度、32年度予算調

昭和31年度衛生研究所予算調

歳入		歳出				
費目	予算額	費目	内訳	当初予算額	節減額	実行予算額
	円			円	円	円
化学試験手数料	864,500	衛生研究所維持費		602,200	8,104	594,096
細菌検査手数料	3,581,500		旅費	33,600	6,904	29,696
			消耗品費	9,000	1,200	7,800
			光熱水費	500,000	—	500,000
			借料及び損料	59,600	—	69,600
		衛生試験費		861,500	131,590	729,910
			旅費	196,800	40,000	156,800
			消耗品費	290,700	31,790	258,910
			食糧費	6,300	3,300	3,000
			印刷製本費	14,100	500	13,600
			通信運搬費	20,700	—	20,700
			修繕料	21,500	—	21,500
			備品費	61,100	6,000	55,100
			原材料費	250,300	50,000	200,300
		細菌検査費		3,391,400	331,700	3,059,700
			旅費	392,400	78,400	314,000
			消耗品費	1,413,700	166,300	1,247,400
			印刷製本費	111,100	—	111,100
			通信運搬費	74,200	—	74,200
			修繕料	174,000	—	174,000
			備品費	475,000	—	475,000
			原材料費	751,000	87,000	664,000
合計	4,446,000			4,855,100	471,394	4,383,706

昭和32年度衛生研究所予算調

歳入		歳出			
費目	予算額	費目	内訳	当初予算額	実行予算額
	円			円	円
試験検査手数料	4,621,000	衛生研究所維持費		752,900	752,900
			旅費	25,500	25,500
			消耗品費	200,000	200,000
			光熱水費	410,000	410,000
			通信運搬費	18,000	18,000
			修繕料	6,400	6,400
			原材料費	45,000	54,000
		検査諸費		3,216,760	3,216,760
			旅費	466,700	766,700
			消耗品費	1,148,170	1,148,170

			食糧費	1,500	1,500
			印刷製本費	74,700	74,700
			通信運搬費	56,500	56,500
			修繕料	189,000	189,000
			備品費	396,500	396,500
			原材料費	883,690	883,690

註　32年度より衛生試験、細菌検査費を一括検査諸費として計上された。

Ⅴ 業務内容について

(A) 庶務係　(現在欠員)

イ、所印、職印の管理に関すること。

ロ、文書の収受及び発送手続き並びに保管に関すること。

ハ、物品の購入及び修繕等の手続きに関すること。

ニ、手数料の徴入整理に関すること。

ホ、衛生研究所の運営、企画及び重要業務の連絡調整に関すること。

ヘ、その他細菌、化学の各係の職務に属しない事がら

(B) 細菌検査係の業務並びに成績

細菌試験検査は一般診療機関よりの依頼を主として、また行政上必要な各種試験、並びに事業所、学校などからの依頼、その他各保健所からの細密検査、それに一般個人からの依頼検査などである。

細菌検査係の業務は大別にして、(1)細菌検査、(2)梅毒血液反応、(3) 結核菌検査、(4)培地製作並びに試験動物飼育(5) その他となっているが、これらの細目は本衛生研究所報第1輯に録したとおりである。

(1) 昭和31年度、32年度（1月～12月）の検査件数並びに成績は次に表示するとおりで、第1表においては、結核、梅毒を除いたそれぞれ1ケ年間の業務実績を示したものであるが、第2表には寄生虫卵検査の実績を示した。

第1表甲　細菌検定実績表　(昭和31年1月～12月)（衛研―結核、梅毒を除く）

検査区分＼月別		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	Ⅻ	計	陽性率
赤痢菌		13 (1)	7	12 (1)	13 (2)	20 (3)	13	21	11 (2)	21 (1)	31 (6)	7	2	171 (16)	9.4%
腸パラ		4	2	4	5	8	1	5	8	4	3	6	4	54	
病源体保有者		1	2	2	4	5 (1)	3	6 (1)	18	6		5 (1)	3	55 (3)	5.5%
その他の細菌検査	ウイダール・ワイルフエリックス反應	2 (2)	3 (3)	4 (3)	7 (6)	11 (11)	3 (3)	6 (6)	16 (10)	9 (7)	3 (3)	9 (4)	7 (4)	80 (62)	
	ヂフチリア菌		2	1	2	1	1	3	1		5	1	2	19	
	流脳菌														
	淋菌				1									1	
	原虫														
	食中毒														
	飲食品	1						1						2	
	水及び氷	19	27	19	18	18	19	14	25	14	14	17	26	235	

	臨床試験	1					1 (1)				1 (1)			3 (2)	
	赤痢菌々型検査	15 (15)	10 (10)	38 (38)	46 (45)	39 (37)	51 (44)	36 (35)	8 (8)	32 (31)	38 (37)	41 (37)	11 (11)	365 (348)	
	その他	454 (1)	446	31	31	11 (1)	23 (3)	6 (1)	3	16 (2)	13 (4)	5 (3)	25 (5)	1,064 (20)	
	計	492 (18)	488 (13)	93 (41)	105 (51)	80 (49)	98 (51)	66 (42)	53 (18)	71 (40)	79 (45)	73 (44)	71 (20)	1,769 (432)	
寄	一般依頼		1				2 (3)	1	1	331 (280)	1 (1)	396 (247)	436 (308)	1,169 (839)	
生	指定町村														
虫	計		1				2 (3)	1	1	331 (280)	1 (1)	396 (247)	436 (308)	1,169 (439)	
合計		510 (19)	500 (13)	111 (42)	127 (53)	113 (53)	117 (54)	99 (43)	91 (20)	433 (321)	114 (52)	487 (292)	516 (328)	3,218 (1,290)	

註 1. 各細菌項目欄中、上の数字は件数、括孤内は陽性数である。
2. 赤痢菌型検査欄中の数字は、衛生研究所において分離した赤痢菌及び保健所から菌株として菌型決定の為、依頼されたものである。

第1表乙 細菌検定実績表 (昭和32年1月～12月) (衛研—結核、梅毒を除く)

検査区分＼月別		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	計	陽性率
赤痢菌		3	10 (3)	14 (5)	34 (4)	32 (6)	20 (2)	18 (1)	17 (1)	16 (2)	21 (7)	4 (1)	8 (3)	197 (35)	17.8%
腸パラ		2		1	5	6	3	9	2 (1)	3	2	1	2	36 (1)	2.8%
病源体保有者		1	1		174 (1)	7								183 (1)	0.55%
その他の細菌検査	ウイダール・ワイルフェリックス反應	1 (1)	2	3 (1)	5 (2)	10 (1)	1	3 (2)	1 (1)	3	4	1 (1)	2	36 (9)	
	ヂフテリア菌			1						2			3	6	
	流脳菌														
	淋菌														
	原虫					3		1						4	
	食中毒									2				2	
	飲食品						1				4			5	
	水及び氷	9	10	9 (1)	18 (3)	57 (8)	58 (9)	41 (15)	31 (10)	26 (9)	54 (8)	27	20	360 (63)	
	臨床試験														
	赤痢菌々型検査	32 (32)	10 (10)	63 (62)	47 (47)	44 (44)	93 (92)	45 (45)	27 (27)	22 (21)	68 (65)	11 (11)	23 (28)	485 (479)	
	その他	8 (2)	678	12		4	17 (1)	4	18	7	9 (5)	8 (3)	8 (3)	773 (14)	
	計	50 (35)	700 (10)	88 (64)	70 (52)	118 (53)	170 (102)	94 (62)	77 (38)	52 (30)	139 (78)	47 (15)	56 (26)	1,671 (565)	
寄生虫	一般依頼	2 (1)			1	2			1		2 (1)		2,272 (613)	2,280 (615)	
	指定町村														
	計	2 (1)			1	2			1		2 (1)		2,272 (613)	2,280 (615)	
合計		58 (36)	711 (13)	103 (69)	284 (57)	165 (59)	193 (104)	121 (63)	97 (40)	81 (32)	164 (89)	52 (16)	2,338 (642)	4,367 (1,217)	

註 1. 各細菌項目欄中、上の数字は件数、括孤内は陽性数である。
2. 赤痢菌型検査欄中の数字は、衛生研究所及び保健所に於て分離し、菌型を決定したものである。

第 2 表 甲　寄生虫卵検査実績表　(昭和31年1月～12月)

検査区分＼件数	検査件数	陽性					
		蛔虫卵	東洋毛様線虫卵	鞭虫卵	十二指腸虫卵	蟯虫卵	その他
直接法	1,159	623 (53.8)	13 (1.1)	189 (16.3)	5 (0.43)	1 (0.09)	
沈澱法	10	2 (20.0)		4 (40.0)	2 (20.0)		
計	1,169	625 (53.5)	13 (1.1)	193 (16.5)	7 (0.60)	1 (0.09)	

註 1. 括孤内は陽性率（%）を示す。
2. 検査材料は主として秋田市内の学童を対象としたものである。　(茂木技師記)

第 2 表 乙　寄生虫卵検定実績表　(昭和32年1月～12月)

検査区分＼件数	検査件数	陽性					
		蛔虫卵	東洋毛様線虫卵	鞭虫卵	十二指腸虫卵	蟯虫卵	肝臓吸虫卵
直接法	2,274	551 (24.2)	11 (0.48)	46 (2.0)	5 (0.22)		1 (0.04)
沈澱法	6	1 (16.7)					
計	2,280	552 (24.2)	11 (0.48)	46 (2.0)	5 (0.22)		1 (0.04)

註 1. 括孤内は陽性率（%）を示す。
2. 検査材料は主として秋田市内の学童、小部落民を対象としたものである。　(茂木技師記)

(2) **梅毒血清反応について**

当衛研においては梅毒検査のために、ワッセルマン反応、村田氏法、北研法を実施しており、必要のあるときは他にガラス板法を実施しているが、昭和31年、32年（1～12月）の実績は第3表に示すとおりである。

第 3 表 甲　梅毒清反応検査件数　(昭和31年1月～12月)

種別＼月別	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	計	陽性率
ワッセルマン反応	503 (86)	541 (72)	636 (100)	572 (76)	538 (84)	521 (85)	594 (105)	576 (105)	559 (94)	566 (94)	501 (100)	391 (59)	6,498 (1,060)	16.3%
沈降反応			4	3	1	2		1	226 (4)			243 (3)	480 (7)	1.5%
計	503 (86)	541 (72)	640 (100)	575 (76)	539 (84)	523 (85)	594 (105)	577 (105)	785 (98)	566 (94)	501 (100)	634 (62)	6,978 (1,067)	

註　括孤内は陽性数を示す。

第 3 表 乙　梅毒清反応検査件数　(昭和32年1月～12月)

種別＼月別	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	計	陽性率
ワッセルマン反応	534 (63)	603 (67)	598 (81)	593 (82)	595 (87)	547 (87)	530 (62)	501 (76)	517 (90)	556 (81)	452 (58)	457 (56)	6,483 (890)	13.7%
沈降反応	1			72 (10)	52	42 (3)			215 (5)	1			383 (18)	4.7%
計	535 (63)	603 (67)	598 (81)	665 (92)	647 (87)	589 (90)	530 (62)	501 (76)	732 (95)	557 (81)	452 (58)	457 (56)	6,866 (908)	

註　括孤内は陽性数を示す。

(3) 結核菌の検査

当衛生研究所において結核菌の塗抹染色を行うこと少く、専ら保健所において行うことが多い。結核菌の培養も各県内医療機関の試験検査が整備され、自主性を有つに到った昨今、依頼も少くなった。現在は主として結核菌の薬剤耐性検査の依頼が多い。昭和31、32年度（1～12月）の成績は第4表甲、乙、第5表甲、乙、第6表甲乙に示すとおりである。

第 4 表 甲　昭和31年自1月至12月喀痰内結核菌塗抹染色成績

区分＼月別	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	計
検査件数		3	2	1	2	6				1	4		19
陽性数		3	1			2					1		7

第 4 表 乙　昭和32年自1月至12月喀痰内結核菌塗抹染色成績

区分＼月別	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	計
検査件数	4		2	4	5	2			2	1			20
陽性数	1		1		2	1							5

第 5 表 甲　昭和31年自1月至12月痰喀内結核菌培養成績

区分＼月別	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	計
培養総件数	178	147	155	146	141	137	129	121	119	37	21	37	1,368
陽性件数	33	24	11	48	29	31	16	23	21	9	5	11	261
陽性率	18.5	16.3	7.1	32.9	20.6	22.6	12.4	19.0	17.6	24.3	23.8	29.7	19.1

第 5 表 乙　昭和32年自1月至12月喀痰内結核菌培養成績

区分＼月別	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	計
培養総件数	29	22	33	37	28	20	14	20	17	21	26	20	287
陽性件数	9	7	5	10	4	3	4	1	3	4	8	5	63
陽性率	31.0	31.8	15.2	27.0	14.3	15.0	28.6	5.0	17.6	19.0	30.8	25.0	22.0

第 6 表 甲　昭和31年自1月至12月結核菌耐性試験成績

薬剤種の類＼区分 検件査数		対照					感性	耐性					
								1 r		10 r		100 r	
					+	−	(%)	A	B	A	B	A	B
S M	246	84	30	23	45	64	67 (27.3)	22	35	5	19	17	17
P A S	258	86	37	27	45	63	96 (37.2)	13	25	13	26	7	15
I N A H	214	74	34	22	33	51	96 (44.9)	14	15	6	15	7	10
T B I	7	3	1			3			2		2		
計	725	247	102	72	123	181	259 (35.7)	49	77	24	62	31	42

第 6 表 乙　　昭和32年自1月至12月結核菌耐性試験成績

区分 / 薬剤種の類	検件数	対照 卌	卅	廿	＋	－	感性 (%)	耐性 1γ A	1γ B	10γ A	10γ B	100γ A	100γ B
S M	191	80	26	13	31	41	33 (17.3)	31	24	8	21	11	22
P A S	191	70	26	12	34	49	49 (25.7)	21	23	7	27	1	14
I N A H	152	64	21	11	21	35	59 (38.8)	6	26	2	8	1	15
P Z M	1	1											1
計	535	215	73	36	86	125	141 (26.4)	58	73	17	56	13	52

備　考

1. 以上の表で対照の陰性のものは判定不明である。
2. 卌は岡一片倉斜面培地上全面びまん性に生えているもの。
   卅は大体びまん性であるが、所々生えないで間隙のあるもの。
   廿はコロニー数が100ケ以上に及んだものか、または表面の2/3に生えているもの。
   ＋はコロニー数が100ケ以下か、または表面の1/3以下にびまん性に生えたもの。
3. 表中Aは対照程度に生えたもの、Bは対照程度とならなかったもの。
4. 成績判定は培養開始後4～5週をもってした。

（佐々木技師記）

(C) 化学試験係の業務並びに業績

化学試験係の業務は秋田県の衛生行政に副ったあらゆる面の化学的試験を担当し、また調査研究を行い、また29年度後半からは放射能に関する業務をも担当している。その他各保健所の化学試験技術の指導誘掖に当り、また業務の応援補助を行っている。

現在当衛研の化学試験係は僅か4名であり、保健所のうち化学試験係の配置されているのは8ヶ所だけである。

業務の内容を別記すると次のとおりである。 (1)水質検査、(2)温泉分析 (3)薬品検査、(4)食品分析、(5)井戸水検査、(6)放射能検査、(7)工業廃液検査、(8)技術者訓練、その他である。

昭和31年、32年（1～12月）に行った業務成績を示すと、第7表甲、乙のおとりである。

第7表 甲 昭昭31年度化学試験実績表

		1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計						
		依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	適	適	不適	判定せず
水質試験	水道水	17	0	17	17	0	17	19	0	19	16	0	16	8	0	8	48	0	48	15	0	15	21	0	21	8	0	8	29	0	29	12	0	12	21	0	21	231	0	231	49	4	8	173
	井戸水	4	0	4	4	0	4	15	0	15	38	0	38	1	0	1	298	0	298	2	0	2	2	0	2	1	0	1	4	0	4	42	0	42	5	0	5	416	0	416	307	15	92	2
	その他	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1	2	0	2	5	0	5	2	0	2	18	0	18	10	3	4	1
	計	23	0	23	21	0	21	34	0	34	55	0	55	11	0	11	348	0	348	17	0	17	24	0	24	10	0	10	35	0	35	59	0	59	28	0	28	665	0	665	363	22	104	176
食品試験	氷雪				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3													0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	0	0	0
	色素				4	0	4	0	0	0	2	1	3	4	0	4	0	0	0													4	0	4	4	0	4	18	1	19	17	0	1	1
	乳及び乳製品				0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
	強化食品				5	0	5	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0													0	0	0	0	0	0	7	0	7	0	0	0	7
	計				9	1	10	1	0	1	3	1	4	4	0	4	3	0	3													4	0	4	4	0	4	28	2	30	20	0	1	9
医薬品	局方試験	1	0	1							0	28	28							1	0	1	0	7	7	0	0	0				0	0	0	0	0	0	2	35	37	31	0	6	0
	工業薬品	0	0	0							0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	3	3				1	0	1	5	0	5	6	3	9	0	0	0	9
	計	1	0	1								2	8							1	0	1	0	7	7	0	3	3				1	0	1	5	0	5	8	38	46	31	0	6	9
温泉分析		4	0	4	6	0	6	4	0	4	1	0	1	1	0	1	6	0	6	4	0	4	1	0	1	2	0	2	2	0	2	4	0	4	4	0	4	39	0	39	38	0	1	0
工場廃水					12	0	12																														12	0	12	0	0	0	12
水中成分の定量		1	0	1																															1	0	1	2	0	2	0	0	0	2

第7表　乙　昭和32年度化学試験実績表

		1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計						
		依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	依頼	調査	計	適	濾適	不適	判定せず
水質試験	水道水	2	0	2	9	0	9	16	0	16	5	0	5	8	0	8	68	0	68	7	0	7	4	0	4	18	0	18	2	0	2	0	0	0	16	0	16	155	0	155	90	3	14	48
	井戸水	1	0	1	7	0	7	20	0	20	3	0	3	3	0	3	228	0	228	10	0	10	10	0	10	5	0	5	3	0	3	3	0	3	4	0	4	297	0	297	193	8	71	25
	その他	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	1	36	0	36	2	0	2	0	2	2	6	0	6	8	0	8	0	0	0	7	0	7	64	2	66	33	5	10	18
	計	5	0	5	16	0	16	36	0	36	10	0	10	12	0	12	332	0	332	19	0	19	14	2	16	29	0	29	13	0	13	3	0	3	27	0	27	516	2	518	316	16	95	91
食品試験	氷雪																3	0	3				0	0	0				0	0	0							3	0	3	3	0	0	0
	色素																4	0	4				0	26	26				1	0	1							5	26	31	22	0	9	0
	乳及び乳製品																3	0	3				0	0	0				4	0	4							7	0	7	0	0	0	7
	計																10	0	10				0	26	26				5	0	5							15	26	4f	25	0	9	7
局方試験		0	5	5																			15	15										0	0	0	0	20	20	18	0	2	0
温泉分析																	1	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1				0	0	0	10	0	10	10	0	0	0
放射能											0	18	18	0	6	6	0	11	11	0	16	16	0	11	11													0	62	62	0	0	0	62
果実中の農薬								0	11	11																								0	18	18	0	29	29	0	0	0	29
水中成分の定量								15	0	15	10	0	10	4	0	4	6	0	6	2	0	2	11	0	11	7	0	7	13	0	13	8	0	8	17	0	17	93	0	93	0	0	0	93

(1) **水 質 検 査**

食品衛生法施行細則第10条に基く営業用水の検査、秋田県条例第号第19条に基く特設水道水の検査、その他一般依頼の検査などである。

以上の理由による昭和31年度（1～12月）、32年度（1～12月）の水質試験検査総件数はそれぞれ665件、316件で内訳は第7表で示した。

(2) **温 泉 分 析**

温水法施行規則第4条第5項に基き、依頼を受けた温水の分析であって、昭和31年、32年度に完了した。もって成績は第8表甲、乙に示すとおりである。

第 8 表 甲　　昭和31年(1～12月)に分析完了した温泉

郡別	件数	温泉名	場所	化学的組成による温泉名
鹿角郡	1	大湯温泉	大湯町大湯字上の湯13の1	弱食塩泉
〃	2	湯瀬温泉	宮川村字宮麓字湯端52	単純温泉
〃	3	—	〃 〃字湯瀬35	〃
〃	4	大湯温泉	大湯町荒瀬43の41	弱食塩泉
〃	5	—	〃 大湯字荒瀬	含塩化土類食塩泉
〃	6	大湯温泉	〃 〃 字上の湯5の2	〃 弱食塩泉
〃	7	大湯温泉	〃 〃 字川原の2湯8の1の1	〃 〃
〃	8	—	宮川村字宮麓湯瀬	単純温泉
〃	9	大湯温泉	大湯町大湯字上の湯11の1	弱食塩泉
〃	10	志張温泉	八幡平村長谷川字老沢1	単純温泉
〃	11	蒸の湯温泉	〃 〃 熊沢国有林第5林班	含硼酸酸性明礬緑礬泉
〃	12	—	大湯町大湯字荒瀬	弱食塩泉
〃	13	上トロコ温泉	宮川村長谷川字トロコ沢無番地	含砒素硼酸曹重弱食塩泉
北秋田郡	14	—	七日市村字岩脇堂山6の1	本温泉は温泉法第二条に該当せず。
山本郡	15	源泉名(田屋の湯)	山本村下岩川字鳥越75	弱食塩泉
〃	16	—	二ツ井町小繋字湯の沢71	含食塩硫黄泉
仙北郡	17	黒湯温泉	生保内町生保内字黒湯	単純硫化水素泉
〃	18	蟹場温泉	田沢村先達沢国有林第24林班と班	〃
〃	19	鶴の湯温泉	〃 〃 〃 24	含食塩土類硫化水素泉
〃	20	源泉名(西明寺温泉)	西明寺村門屋字屋敷田95	単純温泉
〃	21	〃 (妙の湯)	生保内町生保内字駒ケ嶽2の1	〃
〃	22	乳頭温泉	〃 〃 〃 2の1	〃
〃	23	鹿子温泉	太田村字川口沢国有林字川口沢第14林班	石膏泉
〃	24	鶴の湯温泉	田沢村字先達沢国有林24ぬ	含重曹食塩硫化水素泉
〃	25	—	南外村小友湯神台72の3	含石膏食塩泉
〃	26	—	西仙北町大沢郷宿字水上の沢134	単純泉
〃	27	—	田沢村玉川字横部沢国有林小字岩立沢	単純硫化水素泉
由利郡	28	源泉名(小千足)	鳥海村上川内字田代	単純泉
〃	29	—	象潟町浜の町	含ホウ酸強食塩泉
〃	30	—	鳥海村上川内字千足	単純泉
〃	31	湯の沢温泉	〃 猿湯倉の沢51	〃
〃	32	〃	〃 〃	含食塩重曹泉
大館市	33	大滝温泉	大館市十二所字町頭	含石膏食塩泉
〃	34	源泉名(薄の湯)	〃 〃 76の1	含石膏食塩泉
湯沢市	35	泥湯温泉	湯沢市高松泥湯沢25の1	含砒素明礬酸性泉
〃	36	〃	〃 〃 25の12	酸性緑礬硫化水素泉
男鹿市	37	源泉名(地蔵温泉)	男鹿市船川港字鵜の崎	単純泉
〃	38	石山温泉	〃 北浦湯本字草木原81	含土類弱食塩泉
能代市	39	—	能代市母体字湯の沢54	含硫化水素重曹弱食塩泉

(—) は温泉名がないもの。

第 8 表 乙　昭和32年(1～12月)に分析完了した温泉

郡別	件数	温泉名	場所	化学的組成による温泉名
鹿角郡	1	銚子温泉	十和田町大湯字大湯国有林第34林班わ小班	単純温泉
北秋田郡	2	—	森吉町米内沢字立口50	単純泉
山本郡	3	八森温泉	八森町滝の間家の向85の2	含石膏芒硝弱食塩泉
仙北郡	4	源泉名(湯本温泉)	田沢湖町田沢字先達沢口国有林玉川経営区	含砒素食塩硫化永素泉
〃	5	叫沢温泉	田沢湖町大字玉川叫沢	酸性緑礬硫化水素泉
〃	6	—	南外村字温元	含石膏弱食塩泉
雄勝郡	7	—	皆瀬村畑等字新処69の3	単純硫黄泉
秋田市	8	金照寺山温泉	秋田市牛島字中30	含ホウ酸重曹弱食塩泉
大館市	9	新軽井沢温泉	軽井沢字下袋20の2	含石膏弱食塩泉
大曲市	1)	大曲温泉	大曲字十日市二ツ森	単純硫化水素泉

(—) は温泉名のないもの。

(3) 醫薬品検査

医薬品の検査は厚生省の指示、または通牒に基いて薬事監視員が一斉取締りにより収出した医薬品を医務薬事課の依頼によって行うものである。その他覚せい剤、麻薬等の鑑定を行い、また一般依頼の医薬、農薬、工業薬品、化粧品などの検査を行う。次に示すは昭和31年、32年医薬品の一斉取締りによる収去薬品についての検査成績である。

(イ) 昭和31年医薬品一斉取締りによる検査

検査医薬品

(1) パスカルシウム末…… 2種
(2) パスナトリウム末…… 2種
(3) パスナトリウム錠…… 3種
(4) アセトアニリド…… 4種
(5) コンドーム……11種
計22種

検査方法は日本薬局方および国民医薬品集に依り、コンドームは厚生省指定による方法で、行った検査結果は第9表に示す成績で、不合格品はなかった。

第 9 表　医薬品検査成績

(1) パスカルシウム末 (国民医薬品集)

番号	試験項目 / 製造所 / 規格	純度試験 溶解度	色度(標準以下)	濁度(蛋白石濁以下)	塩化物(標準以下)	重金属 0.003%以下	砒素 0.001%以下	m—アミノフェノール	定量 パラアミノサリチル酸 58.4～62.0%	定量 カルシウム 15.3～16.9%	判定
1	田○製薬	澄明	以下	以下	以下	以下	以下	以下	59.2%	16.0%	適
2	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	58.7%	15.6%	〃

(2) パスナトリウム末（国民医薬品集）

番号	試験項目 / 規格 / 製造所	純度試験 溶状(1:20)無色澄明	アルカリ P.p(−)	塩化物規定以下	硫酸塩規定以下	重金属 0.002%以下	砒素 0.001%以下	m−アミノフエノール規定以下	乾燥減量 16.5〜18.8%	熱灼残留物 39.5〜41.0%	定量 p−アミノサリチル酸ナトリウム 99%以上	判定
1	田○製薬	無色澄明	(−)	以下	以下	以下	以下	以下	17.0%	40.4%	99.6%	適
2	科研	〃	(−)	〃	〃	〃	〃	〃	16.6%	40.3%	99.8%	〃

(3) パスナトリウム錠（国民医薬品集）

番号	製造所	定量 95〜105%	判定
1	田○製薬	99.9%	適
2	〃	99.7%	〃
3	〃	97.6%	〃

(4) アセトニアリド（日本薬局方）

番号	製造所	純度試験 融点 113〜115°C	硫酸呈色物標準以下	乾燥減量 0.5%以下	灰分 0.05%以下	判定
1	鳥居薬品	114°C	以下	0.01%	0.005%	適
2	岩城薬品	113°C	〃	0.02%	0.001%	〃
3	三井化学	114°C	〃	0.24%	0.04 %	〃
4	日本製薬	113°C	〃	0.27%	0.001%	〃

(5) コンドーム（厚生省告示コンドーム基準による）

番号	商品名	製造所	検査結果
1	アイデアルスキン	アイデアルK.K	適
2	ロダンスキン	相模ゴム	〃
3	ミリオンスキン	〃	〃
4	ハートビジンシルバー	ハートゴムK.K	〃
5	〃	〃	〃
6	テルミースキン	相模ゴム	〃
7	ネオミリオンスキン	〃	〃
8	ランマンスキン	佐藤仙吾商店	〃
9	レノンスキン	相模ゴム	〃
10	ミリオンスキン	〃	〃
11	ハートビジンシルバー	ハートゴムK.K	〃

（ロ）昭和32年医薬品一斉取締による検査

厚生省の指示により医務薬事課で収去したアルコール苦味チンキ、消毒用アルコール、稀ヨードチンキ、無水アルコール、コールドパーマネント用剤についての検査成績は第10表に示すとおりである。

第 10 表　昭和32年度収去医薬品の試験検査

検査番号	製造所名	品名	検査法	判定
1	東京佐藤製薬	アルコール	局方（六局）	適
2	大阪産研製薬	〃	〃	〃
3	山形オリエンタル薬品	〃	〃	〃
1	大阪小西製薬	苦味チンキ	〃	〃
2	山形オリエンタル薬品	〃	〃	〃
1	大阪山善薬品	消毒用アルコール	国民医薬品	〃
2	東京東豊薬品	〃	〃	〃

1	滋賀　松本隆盛堂	稀ヨードチンキ	局方（六局）	適
2	〃　〃		〃	〃
3	東京　大正製薬		〃	〃
1	仙台　三丸製薬	無水アルコール	〃	〃
1	東京　ア○○○化学	コールドパーマネントウエーブ用剤	厚生省通牒による方法	第1剤　適 第2剤　不適
2	東京　○京○○化学			第1剤　不適 第2剤　適

上記検査品目中コールドパーマネント用剤2件中2件が不適となった。不適となった1件についていうと、その第1剤の硫化物量が0.42%（指示量は0.2%以下）であり、また他の1件ではその第2剤（粉末）中の$KBrO_3$の含有量が92%（指示量97.5%以上）であり、不合格となった。すなわち収去2件中2件とも不適品となったことは、現在市販されているものの中には不合格品が数多くあることを示唆するものと思われる。

（ハ）昭和31年8月収去サントニン製剤中サントニン含有量検査成績

最近においてもサントニン製剤が数多くの種類で市販されている。終戦直後には相当いかがわしいものが横行していたのであるが、10年後の現在果してどの程度まで正規化されたものかどうか、今回薬事監視員が収去したもの7種についてサントニンの含有量を検査したところ第11表のような成績を得た。表に示すように正規のサントニン量を含むものは少く、含量の多量に失したもの2種、少量に過ぎたものが3種で、7件中適正品が僅か2種のみという成績であった。これは製剤が錠剤または粉末剤であるため、均一配合の完全を望むことは困難であることによるとも思われるが、兎も角検査対象物の全部に多少ともサントニンを含有せられていることは、製品の良心的になって来たことを物語るものと思われる。

第11表　収去品のサントニン含有量

（昭和31年8月）

番号	製造所	含有量 標示量 mg	測定値 mg	測定量/標示量%	判定
1	日本新薬	20	19.8	99.1	適
2	○田製薬	100 (6 T)	117.0	117	不適
3	三○製薬	12	12.5	104	適
4	○ス○○製薬	65 (6 T)	54	83	不適
5	○宝製薬	12	17.4	145	〃
6	○山模○	100	77.1	77	〃
7	○亜製薬	100	81.5	81	〃

4 放射能検査

昭和31年、32年に亘って放射能を秋田市水道原水並びに濾水、及び雨、雪について測定した成績は第1表（昭和31年1～12月）と第2表（昭和32年1～12月）に示すとおりである。

第1表　昭和31年1月～12月放射能測定実績表

検査番号	検査物種類	採取場所	採取時 天候	採取時 月日	採取時 時間	蒸発残渣 mg/ℓ	測定時 月日	測定時 時間	測定時 室温	測定時 湿度	N.C.C.p.m	Sample/l c.p.m
1	水道原水	秋田市大野浄水場		10.1	11.00 a.m	64	10.1	p.m 6.40～7.25	23°C	63%	36.1	14.5
2	〃 濾水	〃		〃	11.10 〃	127	〃	〃	〃	〃	〃	33.5
3	〃 原水	秋田市大木屋浄水場		〃	3.00 p.m	64	〃	〃	〃	〃	〃	34.5
4	〃 濾水	〃		〃	〃 〃	66	〃	〃	〃	〃	〃	0
5	〃 原水	秋田市大木屋浄水場		10.9	11.00 a.m	115	10.9	p.m 4.10～4.50	22°C	80%	39.1	33
6	〃 濾水	〃		〃	11.10 〃	124	〃	〃	〃	〃	〃	47
7	〃 原水	秋田市大野浄水場		〃	10.00 〃	84	〃	〃	〃	〃	〃	3
8	〃 濾水	〃		〃	10.20 〃	93	〃	〃	〃	〃	〃	9
9	雨	衛研		10.11	2.00 p.m	93	10.11	p.m 5.00～5.30	18°C	78%	41.9	57
10	水道共用栓	〃		〃	〃	143	〃	〃	〃	〃	〃	85
11	水道原水	秋田市大野浄水場		10.15	10.00 a.m	45	10.15	p.m 2.50～3.14	20°C	65%	42.5	12
12	〃 濾水	〃		〃	10.30 〃	66	〃	〃	〃	〃	〃	0
13	〃 原水	秋田市大木屋浄水場		〃	9.30 〃	38	〃	〃	〃	〃	〃	0
14	〃 濾水	〃		〃	〃 〃	30	〃	〃	〃	〃	〃	15
15	〃 原水	秋田市大野浄水場		11.1	10.00 a.m	75	11.1	p.m 4.00～4.30	20°C	74%	36.6	77
16	〃 濾水	〃		〃	〃 〃	102	〃	〃	〃	〃	〃	0
17	〃 原水	秋田市大木屋浄水場		〃	11.00 〃	74	〃	〃	〃	〃	〃	50
18	〃 濾水	〃		〃	〃 〃	70	〃	〃	〃	〃	〃	16
19	〃 原水	秋田市大野浄水場	雨	11.15	3.20 p.m	64	11.15	p.m 5.55～6.30	11.5°C	60%	35	0
20	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	65	〃	〃	〃	〃	〃	60
21	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	11.30 a.m	53	〃	〃	〃	〃	〃	0
22	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	49	〃	〃	〃	〃	〃	50
23	〃 原水	秋田市大野浄水場	曇	12.1	10.00 a.m	70	12.1	p.m 2.40～3.10	19.5°C	57%	38	70
24	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	66	〃	〃	〃	〃	〃	0
25	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	9.30 〃	47	〃	〃	〃	〃	〃	13
26	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	48	〃	〃	〃	〃	〃	0
27	〃 原水	秋田市大野浄水場	〃	12.17	10.35 〃	81	12.17	p.m 4.20～5.00	26°C	46%	33	0
28	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	77	〃	〃	〃	〃	〃	0
29	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	12.40	52	〃	〃	〃	〃	〃	27

30	水道濾水	秋田市大木屋浄水場	曇	12.17	12.40	50	12.17	p.m 4.20～ 5.00	26°C	46%	33	0
31	雪	衛 . 研	〃	12.24	p.m 2.30～ 3.30	45	12.25	a.m 11.50～12.10	28°C	52%	30	110
32	水道原水	秋田市大木屋浄水場	雪	12.25	2.07 p.m	56	12.26	a.m 6.00～ 9.40	26°C	51%	27	16
33	〃 濾水	〃	〃	〃	2.10 〃	54	〃	〃	〃	〃	〃	6
34	雪	衛 研	〃	〃	p.m p.m 1.40～ 12.26.9	196	12.26	a.m 11.50～12.05	24°C	49%	27	250

第 2 表　昭和32年 1 ～12月放射能測定実績表

検査番号	検査物種類	採取場所	採取時 天候	月日	時間	蒸発残渣 mg/ℓ	測定時 月日	時間	室温	湿度	N.C c.p.m	Sample/l c.p.m
1	水道原水	秋田市大木屋浄水場	雪	1. 7	10.00 a.m	68	1. 7	p.m 2.40～ 3.15	25°C	45%	29.7	113
2	〃 濾水	〃	〃	〃	10.05 〃	65	〃	〃	〃	〃	〃	84
3	〃 原水	秋田市大野浄水場	曇	1. 8	10.30 a.m	78	1. 8	p.m 2.40～ 3.40	22°C	48%	31.5	75
4	〃 濾水	〃	〃	〃	〃	75	〃	〃	〃	〃	〃	63
5	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	1.16	9.30 a.m	90	1.16	p.m 4.00～ 4.30	20°C	53%	35.0	20
6	〃 濾水	〃	〃	〃	9.35 a.m	85	〃	〃	〃	〃	〃	10
7	〃 原水	秋田市大野浄水場	雪	2. 1	10.00 a.m	142.5	2. 1	p.m 4.30～ 5,10	20°C	46%	37	7.5
8	〃 濾水	〃	〃	〃	〃	105.5	〃	〃	〃	〃	〃	5.0
9	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	9.50 a.m	93	〃	〃	〃	〃	〃	0
10	〃 濾水	〃	〃	〃	9.55 〃	88	〃	〃	〃	〃	〃	0
11	〃 原水	秋田市大野浄水場	晴	2.15	11.00 〃	101.5	2.15	p.m 4.00～ 4.45	22°C	63%	35	18.5
12	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	98.5	〃	〃	〃	〃	〃	15.0
13	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	10.30 〃	79	〃	〃	〃	〃	35.5	10
14	〃 濾水	〃	〃	〃	10.35 〃	60	〃	〃	〃	〃	〃	1
15	〃 原水	秋田市大野浄水場	曇	3. 1	3.15 p.m	90.5	3. 2	12.00～12.40	27°C	47%	34	17.5
16	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	81	〃	〃	〃	〃	〃	7.5
17	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	3.40 〃	66	〃	〃	〃	〃	〃	2.5
18	〃 濾水	〃	〃	〃	3.45 〃	65	〃	〃	〃	〃	〃	0
19	〃 原水	秋田市大野浄水場	〃	3.15	3.30 p.m	21.9	3.16	p.m 1.30～ 2.25	23°C	54%	36	20
20	〃 濾水	〃	〃	〃	3.33 〃	186	〃	〃	〃	〃	〃	6
21	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	3.16	9.05 a.m	2.13	〃	〃	〃	〃	〃	6
22	〃 濾水	〃	〃	〃	9.10 〃	0.12	〃	〃	〃	〃	〃	0
23	雨	衛 研	〃	3.19	a.m 8·50～ 12.20	67.5	3.19	p.m 4.30～ 4.50	24°C	44%	30	100
24	水道原水	秋田市大野浄水場	曇	4. 2	11.00 a.m	85.5	4. 2	p.m 4.40～ 5.10	24.5°C	44%	30.5	7.5
25	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	66.5	〃	〃	〃	〃	〃	2.5
26	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	4. 1	10.40 〃	62.5	4. 1	p.m 4.20～ 5.00	21°C	47%	33.5	15.0

27	水道濾水	秋田市大木屋浄水場	曇	4. 1	10.35 a.m	61.0	4. 1	p.m 4.20～ 5.00	21°C	47%	33.5	0
28	雨	衛 研	雨	4.10	p.m a.m 8.10 ～4.11.8	7. 42	4.11	p.m 2.00～ 2.25	13°C	81%	30.8	70
29	〃	測 候 所	〃	〃	p.m a.m 8.10 ～4.11.9	48	4.11	p.m 3.00～ 3.30	〃	〃	26.3	61
30	〃	衛 研	〃	4.11	p.m 4.30 ～ 6.00	28	4.12	p.m 1.10～ 2.10	16°C	82%	28	40
31	〃	〃	〃	4.14	p.m a.m 7.00 ～4,15.8	3. 15	4.15	p.m 12.40～ 1.20	〃	57%	28.2	90
32	水道原水	秋田市大野浄水場	曇	4.15	3.00 p.m	4. 12	4.16	a.m 10.40～11.30	15°C	66%	26.5	71
33	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	49	〃	〃	〃	〃	〃	71
34	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	10.25 a.m	55	〃	〃	〃	〃	〃	79
35	〃 濾水	〃	〃	〃	10.30 〃	52	〃	〃	〃	〃	〃	65
36	雨	衛 研	雨	4.19	p.m a.m 5.00 ～4.20.7	49	420	p.m 1.20～ 2.05	18.5°C	89%	29.8	48
37	〃	測 候 所	〃	〃	〃 〃	21	〃	〃	〃	〃	〃	54
38	〃	衛 研	〃	4.25	p.m 2.00 ～ 4:30	8. 41	4.26	p.m 1.35～ 2.30	16°C	94%	31.8	213
39	〃	〃	〃	〃	p.m 4.30 ～ 6.40	18	〃	〃	〃	〃	〃	31
40	〃	〃	〃	〃	a.m 6.40 ～4.26.8	16	〃	〃	〃	〃	〃	58
41	〃	測 候 所	〃	4.25	p.m a.m 1.25 ～4.26.9	17	4.27	a.m 10.25～11.30	15°C	〃	31.3	0
42	水道原水	秋田市大野浄水場	晴	5. 1	3.45 p.m	69	5.1	p.m 6.20～ 7.30	17.5°C	88%	29.3	11
43	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	65	〃	〃	〃	〃	〃	7
44	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	曇	〃	9.00 a.m	43.5	〃	p.m 2.40～ 3.40	18.5°C	89%	31.6	18
45	〃 濾水	〃	〃	〃	〃 〃	10	〃	〃	〃	〃	〃	6
46	雨	衛 研	雨	4.30	p.m a.m 22.40 ～ 5.1,5	57	〃	〃	〃	〃	〃	73
47	〃	測 候 所	〃	〃	〃 〃	35	〃	p.m 6.20～ 7.30	17.5°C	88%	29.3	134
48	〃	衛 研	〃	5.11	a.m 夜～5.12.10	8. 15	5.13	p.m 1.36～ 2.30	19.5°C	83%	29	44± 1.9
49	〃	〃	〃	5.14	p.m 1.20 ～ 1.22	7. 54	5.14	p.m 7,25～ 8.15	17.5°C	78%	26.8	297
50	〃	〃	〃	〃	p.m 1.23 ～ 2.20	84	〃	〃	〃	〃	〃	216
51	水道原水	秋田市大野浄水場	晴	5.15	10.07 a.m	59.2	5.15	p.m 8.00～ 9.40	18°C	73%	28	6.1± 1.2
52	〃 濾水	〃	〃	〃	10.15 〃	59	〃	〃	〃	〃	〃	5.6± 1.2
53	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	10.35 〃	49.5	〃	〃	〃	〃	〃	2.8± 1.0
54	〃 濾水	〃	〃	〃	10·30 〃	36.4	〃	〃	〃	〃	〃	2.6± 1.1
55	雨	衛 研	雨	5.20	a.m p.m 10.15 ～ 3.40	4. 25	5.21	p.m 3.45～ 5.00	19°C	74%	30.1	306
56	〃	〃	〃	5.20	p.m a.m 3.40 ～5.21.9	9.6	〃	〃	〃	〃	〃	3.8
57	〃	測 候 所	〃	5.20	a.m a.m 9.10～5.21.9.10	19.4	〃	〃	〃	〃	〃	28.2
58	水道原水	秋田市大野浄水場	晴	6. 1	9.25 a.m	86.4	6. 1	p.m 6.30～ 9.00	25°C	58%	27.5	2.2± 0.9
59	〃 濾水	〃	〃	〃	9.30 〃	0. 10	〃	〃	〃	〃	〃	1.1± 0.9
60	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	9.10 〃	46.9	〃	〃	〃	〃	〃	3.3± 0.9
61	〃 濾水	〃	〃	〃	9.05 〃	47.5	〃	〃	〃	〃	〃	2.5± 0.8
62	雨	衛 研	雨	6, 4	p.m a.m 4.10～6.5.8.30	72	6. 5	p.m 2.25～ 3.45	19.5°C	74%	27.5	190

63	雨	衛研	雨	6. 7	p.m 3,50 ～a.m 6.8.20	142	6. 8	p.m 4.25～ 5.25	20°C	79%	27.5	76
64	〃	〃	〃	6. 8	夜～p.m 6.9.5.00	34	610	p.m 2.50～ 3.50	23°C	67%	29.5	95
65	水道原水	秋田市大野浄水場	曇	6.25	8.40 a.m	89.7	6.25	p.m 7.10～ 9.20	22°C	76%	26.3	3.9±0.9
66	〃 濾水	〃	〃	〃	8.45 〃	93.5	〃	〃	〃	〃	〃	1.9±0.9
67	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	9.15 〃	57.9	〃	〃	〃	〃	〃	2.3±1.3
68	〃 濾水	〃	〃	〃	9.10 〃	54.2	〃	〃	〃	〃	〃	3.2±1.4
69	水道原水	秋田市大野浄水場	晴	7. 1	8.55 〃	96	7. 1	p.m 7.00～ 9.30	27.5°C	59%	25.5	0
70	〃 濾水	〃	〃	〃	9.00 〃	101.7	〃	〃	〃	〃	〃	0.9±0.9
71	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	9.55 〃	57	〃	〃	〃	〃	〃	1.4±0.9
72	〃 濾水	〃	〃	〃	9.50 〃	51.2	〃	〃	〃	〃	〃	2.2±0.9
73	雨	衛研	雨	7. 3	a.m 8.25 より	74	7. 3	p.m 3.15～ 4.20	25.5°C	77%	27.3	29
74	〃	〃	〃	7. 7	夜中	390.	7. 8	p.m 3.00～ 4.50	23°C	90%	28.2	101
75	水道原水	秋田市大野浄水場	〃	7.15	9.05 a.m	81.7	7.17	p.m 10.35～12.30	27°C	74%	27.4	6.2±1.1
76	〃 濾水	〃	〃	〃	9.10 〃	70.7	〃	〃	〃	〃	〃	1.4±0.9
77	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	9.00 〃	65.6	〃	〃	〃	〃	〃	19.7±1.4
78	〃 濾水	〃	〃	〃	8,55 〃	69.8	〃	〃	〃	〃	〃	2.1±0.9
79	水道原水	秋田市大野浄水場	晴	8. 5	9.50 a.m	250.7	8. 6	p.m 2.40～ 4.10	29.5°C	67%	27.6	0.2
80	〃 濾水	〃	〃	〃	9.55 〃	112.5	〃	〃	〃	〃	〃	0
81	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	8.55 〃	85.7	〃	〃	〃	〃	〃	0.9
82	〃 濾水	〃	〃	〃	8.50 〃	97.5	〃	〃	〃	〃	〃	2.9±1.0
83	水道原水	秋田市大野浄水場	曇	8.15	10.10 〃	107.3	8.16	p.m 2.30～ 4.40	28.5°C	67%	27.3	0
84	〃 濾水	〃	〃	〃	10.15 〃	99	〃	〃	〃	〃	〃	0
85	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	9.37 〃	65.8	〃	〃	〃	〃	〃	0
86	〃 濾水	〃	〃	〃	9.43 〃	75.7	〃	〃	〃	〃	〃	0
87	〃 原水	秋田市大野浄水場	晴	9. 2	9.35 〃	102.9	9. 3	p.m 2.45～ 4.35	24°C	64%	30.5	9.4±1.3
88	〃 濾水	〃	〃	〃	9.40 〃	95.2	〃	〃	〃	〃	〃	8.2±1.3
89	〃 原水	秋田市大木屋浄水場	〃	〃	9.15 〃	63	〃	〃	〃	〃	〃	4.5±1.3
90	〃 濾水	〃	〃	〃	9.10 〃	61.2	〃	〃	〃	〃	〃	7.3±1.3

Ⅵ ☆講習会について☆

昭和31年，32年（1～12月）に行われた講習会は細菌技術者化学検査係を主な対象としているが，その他準看護婦の細菌学実習も行われ、また最近理容師、美容師の衛生消毒法の実習を行っている。

1. 準看護婦に対する講習会

日時　昭和31年8月5～19日
受講員数　30名
講習課目　結核菌検査の実際
　　一般細菌試験検査要領
　　梅毒血清反封検査要領

日時　昭和32年7月26日～8月9日
受講員数　30名
講習課目　一般細菌検査の実習
　　消毒法の実際
　　結核菌検査の実際
　　梅毒血清反応検査要領

2. 美容師理容師に対する講習会

日時　昭和31年10月20,27日
受講員数　31名
講習課目　消毒法の講義と実習

日時　昭和32年10月14，30日
受講員数　30名
講習課目　消毒法の講義と実習

3. 細菌検査技術者に対する講習会

日時　昭和31年5月8，9日
受講者　県内各保健所、病院、診療所の細菌試験従行員　56名
講習課目　㋑結核菌の各種検査法
　　㋺結核菌検査法の最近の進歩及びカンジダニついて
　　講師　占部　薫　博士

日時　昭和31年11月11，12日
受講者　同上
講習課目　㋑腸内細菌の検査法の実際
　　㋺腸内細菌の最近の動向
　　講師　広木彦吉　博士

4. 化学試験技術者に対する講習会

日時　昭和32年3月15日
受講者　各保健所勤務化学試験担当技術者　8名
講習課目　㋑し尿浄化槽の排水試験について
　　㋺着色料の試験法
　　㋩食品の有害性金属試験法

5. 第6回東北六県公衆衛生学会プログラム

第6回東北六県公衆衛生学会について

昭和32年7月5日、第6回東北六県公衆衛生学会が秋田市日米文化会館に於て開催された。参会者約250名、盛会であった。申込演題数は35　これに当日となって2,3の追加があった。次に同日の演題を記し、抄録は消略する。

1. 昭和31～32年冬季流行の山形県におけるインフエルザに就いて
　山形衛研　○斎藤　哲
　武田章太、大井清彌、奥山俊夫、伊藤美智夫、小野精美
2. 最近4ケ年間に於けるインフルエンザのHirst氏試験の成績
　青森衛研　○中村儀之亟
　泉山千枝
3. ジフテリア発生の季節変化に関する二ノ三の観察
　宮城県衛生部　○野家美夫
　柚木角正、山司男七
4. 酒田地区に発生したジフテリアについて
　山形衛研　○武田章太
　伊藤美智夫、小野精美
　西村日出丸、佐々木　稔
5. 福島県におけるジフテリアの疫学的考察
　福島県厚生部公衆衛生課
　○菊地　浩
　隆　文雄
6. 某肥料工場におけるSO_2曝露下作業者の実態調査 Ⅱ
　岩手医大衛生公衛
　○園田釈雄
　佐藤信久、他
7. 玉川温泉に溶存する有害成分について
　岩手衛研　○鎌田　博、飯岡邦夫
　佐藤　彰、熊谷昭輔

8. 某化学肥料工場内に発生せる鉱肺（珪肺）
八戸保健所　○天　野　正　也

9. 結核集団検診時に発見された非結核性一過性肺野陰影について
石巻保健所　○伊　藤　裕　一

10. 依頼検体から観た結核菌の薬剤耐性について
秋田衛研　○佐々木　千代治

11. 局所煖房に関する環境衛生学的研究
第3報　日本間の火鉢による空気汚染について
山形衛研　○二　戸　源　治
高橋達彌、青柳　登

12. 脳卒中生存期間の年令的差異について
弘前大学衛生学教室
○武　田　壌　寿

13. 東北地方農村の血圧の高い村と低い村との比較検討　弘前大学衛生学教室
○佐々木　直　亮
武田壌寿、福士　襄
三橋禎祥

14. 都市、農漁村の高血圧の特徴と之等地域の青壮年層の脳溢血死に対する警告
石巻保健所　○伊　藤　裕　一

15. 農村生活の近代化の促進について
山形衛研　○浦　本　政三郎

16. 僻地に於ける衛生検査について
福島衛研　○猪　野　　茂

17. Discusion の反省
福島県厚生部医務課
○蓬　田　丑　治

18. 幼児間食の量について
岩出山保健所　○山　田　安　夫

19. 薬用人蔘中ビタミンC含量について
岩手衛研　○舘　岡　邦　夫

20. ハード及びソフト・アイスクリームの品質について
宮城衛研　○横　山　健　吉

21. 冷凍苺の製造過程における細菌数の消長について
宮城県白石保健所
○平　間　一　男

22. 弘前市に於て発生せるアズキアイスによる食中毒
青森県弘前保健所　○小　野　淳　信
吉　田　　正
青森県衛生研究所　増　子　勝　康
弘前大学細菌教室　山　本　耕　一
小林慶順、木下嘉一、
一戸尚一郎、大高興、
栗佐秀二、飯坂　宏、
村田秀明

23. 当保健所管内における「魚いずし」の摂食状況調査成績（中間報告）
青森県鰺ヶ沢保健所
○吉　崎　鉄　雄

24. 秋田県産リンゴの砒素、鉛、銅の含有量について
秋田衛研　○斎　藤　ミ　キ

25. ドクササコ（火傷茸）の毒成分について
秋田衛研　○児　玉　栄一郎

26. 魚肉中のヒスチジン脱炭酸について
岩手衛研　松　井　清　治
○石母田　四　郎
熊　谷　昭　輔

27. 皮膚科疾患領域より分離せる葡萄球菌の Phage typing について
岩手衛研　○松　井　清　治
谷藤勝雄、石母田四郎
岩手医科大学皮膚科　伊藤正勝、黒沢誠一郎
小瀬川力

28. 荘内に発生した野兎病について
山形衛研　○奥　山　俊　夫
斎藤　哲、小野精美

29. 野兎病の皮内反応抗原に関する研究
山形衛研　○大　井　清　彌
小　野　精　美

30. 野兎病菌の抗原抗体反応に関する実験的研究
山形衛研　○伊　藤　美智夫
大井清彌、生田章太、
斎藤　哲、奥山俊夫、
小野精美

31. 流通貨幣による手指の汚染について
青森県鰺ヶ沢保健所
○花　田　恒　雄
山本昌三、能美光房

32. 「病原性大腸菌岩手株」に関する研究
岩手衛研　松井清治、谷藤勝雄
○石母田　四　郎
長山キエ、工藤啓子

33. 汚染食品による赤痢集団発生例
秋田県大曲保健所
○吉　成　和　郎
竹内浩一、高橋嘉一郎